

岐阜県図書館協会

No. 41  
平成25年3月

# 会報

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話(058)275-5111

## 岐阜県公共図書館協議会活動報告

5月18日に開催した館長研修会では、「災害と図書館」を大テーマに、愛知工業大学工学部建築学科准教授の中井孝幸氏による講義「安全な避難のために～公共図書館での滞在利用に関する行動調査から」と、岩手県大槌町生涯学習課長兼図書館長の佐々木健氏による現地報告「逆境に立ち向かう～震災からの復興に自然と歴史と文化を～」を拝聴した。建築と利用者動線から図書館の安全性を考え直すと共に、東日本大震災の被災地からの報告によって、災害に対する心構えを新たにすよい機会となった。

職員研究集会は、「図書館広報の実践～図書館サイトのメッセージを「わかりやすく」「伝わりやすく」するための文章術」をテーマに、10月12日に各務原市立中央図書館を会場に開催した。Code4LibJAPANの派遣研修を活用したワークショップ型の研修で、講師の岡本真氏による実際にパソコンを使っの演習はとても分かりやすく、また参加者同士の交流の機会が持てたことも、とても好評であった。

各地区協議会においては、先進図書館の視察や講師を招いての研修事業等が開催され、職員が研鑽を積んだ。

相互協力委員会では「レファレンスサービスPRフライヤー」の作成を今年度の活動テーマとし、加盟館職員から広くデザインを募集し

た。3名4作品の応募があり、審査の結果、関市立図書館の柴田正美さんの作品が最優秀作品に決定した。フライヤーデザインとして採用され、ハガキサイズのフライヤーとして印刷、各加盟館で配布されることとなった。レファレンスサービスの有効性をとても分かりやすく伝えるフライヤーで、幅広い世代に受け入れられる、親しみやすいデザインである。

### ●県内公共図書館の動向

インターネットを利用したサービスが拡大を見せている。大垣市立図書館では、予め利用登録をしたユーザーが同館ウェブサイトでも電子版の郷土資料を貸出・閲覧できる「大垣市電子図書館」を、7月に開設した。中山道みたけ館（御嵩町図書館）は、情報共有するためのユーザー作成型コンテンツ「N a v e r まとめ」を使い、「名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）情報のまとめ【乗って残そう】」を7月に公開した。多治見市図書館は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海支社と、岐阜県中津川市に本社を置く株式会社カーリルと共同で、スマートフォン・タブレット端末向けのコンテンツ「カーリルタッチ！」を11月に発表した。これは、書架に掲示されているICタグ内蔵のマークに端末をタッチさせることによって、書架に関連するウェブ情報や、求める資料の貸出状況等の案内へ利用者を誘導するサービスである。

## ●岐阜県図書館について

「岐阜県図書館協力業務ハンドブック」が完成し、県内図書館が県図書館の各種サービスを利用する際の手続き等が一覧できるようになった。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

## 岐阜県大学図書館協議会活動報告

平成24年度、岐阜県大学図書館協議会として次の活動を行った。

- 運営委員会（7月6日〈金〉岐阜大学）
- 総会（8月2日〈木〉情報科学芸術大学院大学）
- 研修会（8月2日〈木〉情報科学芸術大学院大学）

平成24年度の総会は、当番大学の情報科学芸術大学院大学を会場とし、会務報告の後、以下の項目について協議した。

- (1) 平成23年度決算について
- (2) 平成24年度予算(案)について
- (3) 平成24年度岐阜県大学図書館協議会研修会(案)について
- (4) 情報交換

情報交換では、以下のような、各館が直面している課題や取組等についてそれぞれ説明・紹介を行い、これらについて種々意見交換を行った。

- ・大学図書館の教育・学習支援機能の強化、大学図書館コンソーシアム連合 JUSTICE、機関リポジトリについて
- ・図書館サポーターの活動について
- ・書評ゲーム「ビブリオバトル」について
- ・司書による図書館活用のための講義、学生

選書について 等

総会に引き続き、研修会を開催した。研修会は、小林昌廣情報科学芸術大学院大学教授・図書館長により「アートとアーカイブの接点」という演題で講演会を開催した。同教授からは、実体のある伝統的な美術作品に比べて形に残りにくい現代アートや芸能文化はいかにして後世に伝えられてきたか、また記録を残す方法の発達は芸術にどのような影響を与えてきたのか等、保存という観点から芸術全般について多彩な事例を交えた解説があり、参加者は興味深く話に聞き入っていた。

また、平成24年度より、講演会を広く公開されたものとするため、その参加者を学生・一般市民等へ広げ(参加無料)、県や各大学のHP等で案内を行ったことにより、講演会には総会出席者の他、学生・一般市民等からの参加も得ることができた。

本協議会は、大学図書館の振興のために、今後も相互に連携を深めながら、新しい活動にも積極的に取り組んでいきたい。

(岐阜県大学図書館協議会事務局)

## 岐阜県学校図書館協議会の研修と活動

岐阜県学校図書館協議会では、下記のように学校図書館の充実発展を図るための研究会や研修会と、児童生徒の読書の振興を図るための各種コンクールを行っている。

### ☆研究会、研修会

- (1) 第1回研究会及び代表者会

(5月29日 岐阜県図書館)

活動計画、予算、研究大会の計画などの協議

や連絡をすると共に、県教育委員会学校支援課課長補佐 小川和彦先生より「岐阜県の学校図書館の現状と課題」という題で講話をいただいた。県下各地区から理事や代表者が集い、子どもの読書や図書館教育の推進について共通理解を図ることができた。

#### (2) 第38回全国学校図書館研究大会(米子大会参加)

(8月8日～10日 鳥取県米子コンベンションセンター・米子市文化ホール)

「学びを広げる ひとをはぐくむ 学校図書館 ことばの力を培い、豊かな出会いを創る」をテーマに開催された大会に参加した。鳥取県では、司書教諭が全校配置され、小中学校の司書教諭に、週5時間以上の図書館業務のための時間が確保されており、学校司書も大部分の学校で配置されている。その特色が生かされた「学校図書館を活用する探求方学習」「司書教諭の活動の活性化」「言語力を伸ばす読書指導」「データベースの活用」などの実践発表、ワークショップ、講演などに参加し、素晴らしい図書館先進県の実践を学ぶことができた。

#### (3) 平成24年度学校図書館夏季ゼミナール

(8月16日 奥の細道むすびの地記念館)

講話1では、「芭蕉と俳句」「奥の細道の研究」について大垣市役所文化振興課学芸員大木祥太先生に、講話2では、「俳句と図書館活用」について大垣市役所文化振興課主任指導主事早野晋文先生に話を聞いた。紀行文学作品としての『奥の細道』や松尾芭蕉について、学習指導要領の中での位置づけ、関連図書、館内展示の仕方の特徴などについての興味深い内容であった。学校教育の中で地域の施設との連携を図ることや、利用指導について考えることができた。

#### (4) 第2回研究会及び代表者会

(2月20日 岐阜県総合教育センター)

研究会や各種コンクールの報告を行った。また、昨年度学校図書館教育最優秀賞受賞校の中で、岐阜市立鏡島小学校、恵那市立岩邑小学校の2校に図書館教育の実践発表をしていただいた。この場で図書館経営について具体的に学ぶことができた。

#### ★各種コンクール

(1) 図書館だよりコンクール(高等学校のみ)

(2) 読書感想文コンクール(小学校、中学校、高等学校、在学勤労青少年)

(3) 読書感想画コンクール(小学校、中学校、高等学校)

(4) 図書館利用記録コンクール(小学校、中学校)

それぞれに多数の参加があり、素晴らしい作品が集まった。今後もこうした事業を通して、読書活動等がますます豊かに発展することを願っている。

(岐阜県学校図書館協議会事務局)

## 図書館活動研究大会報告

個性的な棚作りで全国的に有名な、京都市左京区の「本にまつわるあれこれのセレクトショップ」恵文社一乗寺店の堀部篤史店長を講師として招き、図書館活動研究大会を開催した。

午前の講演では、恵文社一乗店の棚作りや集客方法について、具体例を交えながらご紹介いただいた。また、書店と図書館の共通点と違いをふまえた図書館へのご提言をいただいた。

講演に引き続き、午後は「食」をテーマとしたブックトークを披露していただいた。「食」をキーワードにつながっていく多種多様な分野の図書紹介は、恵文社一乗寺店の棚作りの実際を垣間見るようで、図書館職員にとってもたい

へん参考になる内容であった。

今大会はさまざまな館種の職員が参加し、ブックトーク終了後の質疑応答でも多くの発言が相次ぐなど、好評の内に会を終了した。

#### ◆講演会

「本棚を編集する

～恵文社一乗寺店の棚作り～」

堀部 篤史 氏（恵文社一乗寺店 店長）

○講演の感想

- ・本と本で情報をつなげる、本棚のディスプレイで何かを発見できる、知らなかったことに興味を持つなど、目的のない人への視点ということで、今後の参考になりました。
- ・小さい町の図書室で、今日のお話はとても役立つのではないかと思いました。
- ・一冊の本を人に伝えることも、視点の切り口を変えるだけで伝わり方がまったく違うのだということを教えられました。

#### ◆ブックトーク

講師の堀部さんによる、「食」をテーマとしたブックトーク。

○ブックトークの感想

- ・大人向けのブックトークもやってみたくなりました。
- ・普段意識している本の分類、ジャンルわけとは違ったくりでの本の探し方、紹介の仕方がたいへん興味深かったです。
- ・幅広い知識と旺盛な知的好奇心に裏打ちされたブックトークでした。ひねりのある本の組み合わせで、「食」の文化の広さと深さを感じることができました。

(岐阜県図書館協会事務局)

## 岐阜県図書館協会平成24年度事業報告

### 1 図書館活動研究大会（77人参加）

平成24年11月9日（金）岐阜県図書館

### 2 図書館なんでも相談（初任者研修）

平成24年6月1日（金）瑞浪市総合文化センター

### 3 資料発行

「会報」（41号） 平成25年3月

「岐阜県の図書館 利用方法調査」

平成25年3月

### 4 会議

理事会 5月23日（水）

相互協力部会 10月23日（火）

(岐阜県図書館協会事務局)